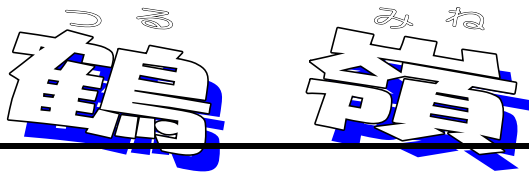


2018. 5. 1



5月になりました。

鶴嶺中の創立71周年目が始まり、早や1箇月が過ぎました。205名の1年生も、上級生が伝統の「下級生 First!」「転入生 First!」で迎えてくれ、常によい手本を示してくれるので、すっかり「素晴らしい鶴中生」になりました。

とはいえ、部活動も本格的に始まり、まだまだ慣れない大変さはあるかと思えます。毎朝、元気な「おはようございます。」を交わしていると、2・3年生もそうだったように、徐々に慣れていってくれるだろうと思っています。2・3年生も新しいクラスで少なからず緊張の1箇月だったと思います。各ご家庭におかれましては、引き続きご支援、ご協力をお願いするとともに、気になることがございましたら、ぜひ担任あてお知らせくださるようお願いいたします。



家庭訪問 ありがとうございます。

お忙しい中をお時間を作っていただき、有難うございました。各担任を温かくお迎えいただき感謝申し上げます。短時間の訪問ではありましたが、「今後、何かあれば相談してみよう!」という思いをお持ちいただけていましたら幸いです。5月は19日(土)に体育祭、23日(水)には学校説明会・PTA総会もごございます。お忙しいとは存じますが、ご来校いただくとともに、学校の様子をご覧いただき、教職員とも話をしていただければ幸いです。

家庭科の先生が見つかりました!

2018年度は家庭科の先生が見つからずに、4月は柴田教頭が3学年すべての授業を担当していました。ようやく非常勤の先生においでいただけることになり、1年生と3年生については、寺門浩子(てらかどひろこ)先生に教わることとなります。茅ヶ崎市や藤沢市の中学校での経験もある素晴らしい先生です。どうぞよろしくお願い申し上げます。2年生の授業は引き続き、教頭が担当しますことを申し添えます。

放送による朝会を行いました。

校長として、素晴らしい鶴中生に伝えたいことは沢山あります。体育館に集合してもらうことは時間がかかるので、そう多くはできません。Dear Studentsにより伝えることもしていますが、昨年度インフルエンザが猛威を振るっている時期に放送室からお話をしたので、今年は放送による朝会を取り入れることにしました。

4月24日(火)にお話した内容は次のとおりです。今後月に1・2度はやりたいと考えています。今回も放送室までは聞えませんでした。拍手をしてくれたクラスもあったと聞きました。温かい聴き方をしてくれる生徒の皆さんに感謝しています。

皆さん、おはようございます。今日は、第1回「全校朝会放送版」です。報道委員のご協力に感謝します。

今日のお題は「日本一幸せな男の話」です。本題に入る前に、なぜ、放送による朝会を開こうと思ったかと言うと、皆さんに「すばらしい!」を言うチャンスが中々なくて、どんどん溜まっていってしまうからです。とはいえ、体育館に集まってもらうのは時間もかかります。直接話したいのはヤマヤマですが、これからは時々、放送による「朝会」を開催しますので、よろしくお願い申し上げます。「素晴らしい!」の前に、「一生懸命は美しい!」をお話します。4月8日の陸上部の親桜駅伝に始まり、教頭先生と手分けをして様々な部活の応援に行きました。選手はもちろん、応援の皆さんやサポートに回っている皆さんの動きも大変素晴らしかったです。自分の役割を一生懸命果たす皆さんは本当に素晴らしいです。女バスは応援歌で選手を鼓舞していました。応援歌があるっていいですね。

では、各学年ごとの素晴らしい!の前に、最近本当にびっくりした「すばらしい!」を紹介します。それは先週の放送当番の3年生が放送室のカギを取りに来た時のこと。「ご苦労様」と言ってカギを渡すと、彼女は左手にお弁

当やノートを持っていて、右手で受け取ってくれたのですが、「すみません、片手で」と言うではありませんか。本当にびっくりしました。素晴らしいを乗り越えて、素晴らしすぎです。

さて、「素晴らしい！」を3年生、2年生、1年生の順でお話します。3年生は、守ってくれる上級生がいなくなり、傘も一本も無くなりましたが、本当に鶴中の顔として、学校の代表として、素晴らしさを發揮してくれています。3年生の余裕のある素晴らしい生活態度のお蔭で1~2年生も安心して生活できています。ありがとうございます。2年生は、1年生と3年生に挟まれ、サンドイッチで言う「具」です。3年生が2年生の時にも言いましたが、「具が大事！」です。今年の具も素晴らしいですね。2年生の学年便りにあったある男子の文章を紹介します。私は2年生になって今まで中学校の中で一番下で守られてきたが、1年生を守らなくてはいけない学年になりました。でも今は1年生気分がすぐには抜けなく、2年生らしい振る舞いができていません。なので、1年生の中で身に付いたことを生かして2年生らしい振る舞いをし、1年生の時に岡先生や校長先生が言っていたとおり今では、傘は一つしかありませんが、自分のことではなく周りのことを考え、1年生の時にされてきたように1年生を守り、そこからアレンジを加え、傘に穴があかないようにしようと思いました。さらに後輩に色々なことを教えることができるように当たり前のことを当たり前のようにしようと思いました。どうでしょう？さすがは、鶴中で1年間やって来た2年生ですね。

さて、1年生も素晴らしいです。4月始めに「鶴中生になろう！」を学活でやったと思いますが、挨拶にしても掃除にしても「先輩の見様見真似でとても素晴らしく嬉しい驚きを感じています。」中には、「まだ1年だけど、来年は下級生ファーストをしたい」と言ってくれている人もいます。伝統を引き継いでくれる後継者の1年生が素晴らしいのも、今の鶴嶺中の財産です。未来は明るいです。「進んでやるのが上の上、真似てやるのが中の中、言われてやるのが下の下」のとおり、2・3年生はすでに「進んでやる」の域に達しています。1年生は、上級生を真似て頑張ってくれています。素晴らしい！体育祭に向けての準備も始まっていますが、2年生が1年生に向けてのアドバイスをしてくれたり、「良心のサイクル」も進化しています。

また、昨日、3年生の音楽の授業を見ていると、それはもう素晴らしい授業態度で感心しました。みんなが白石先生のアドバイスを受けて一生懸命歌っていました。それこそ「授業は団体戦」を感じました。そして、校歌もハモルことに挑戦していました。これも新しい取り組みだと思えます。

創立71周年目に入り、ますます進化していることをそこかしこで感じられるのは、とても嬉しいことです。職員玄関のところの階段下に、「1年生、見てないで一緒にやろう！」というポスターを張りましたが、1年生も立派に頑張っています。美術の時間の作品も、こんなに早い時期に「なんでやねん 美術館」という形で参加しています。素晴らしい！

さて、朝読書の時間に廊下を回っていると、時々、先生と話している人がいます。何かしらの指導を受けているのだと思いますが、指導して下さると言うことは、そこには必ず「期待」があります。それだけは忘れないでください。鶴嶺地区には、昔から「叱ってくれてありがとう」という言葉があります。どうでもいいやと思う相手には真剣に向き合ったりしません。どうかそのことはいつも頭の片隅に入れておいてください。それから1年生の時期にはよくありますが、遊んでいたたり、ふざけていたりからケガをする人が出たりすることがありますから、気をつけましょう。

また、小学校と比べると世界も広がり、色々な人がいることにも気づくでしょう。「みんなだれかのだいじ」です。「怒」の気持ちと合わせて、誰とでも礼儀をもって接してください。校内はすべてCourtesy Zoneです。

最後に、「日本一幸せな男」の話をしてします。幸せの定義は人それぞれだと思いますが、その一つに、幸せな人は「感謝の気持ちを持つことができる人」だと言われます。皆さんが何不自由なく学校に来れるのもお家の方のおかげ。うるせえ！と反抗しても弁当を作ってくれるのは誰？洗濯をしてくれるのは誰？忘れ物を届けてくれるのは誰？部活で言えば、皆さんがお休みでも「審判に行ってくれる先生」のお蔭で大会が成り立っています。有難いことですね。感謝すべきことはたくさんありますね。

そして、日本一幸せな男は・・・毎日、元気に通って来てくれる素晴らしい生徒と毎日「おはよう！」「さようなら！」と挨拶を交わすだけでなく、両手握手やグータッチをしてくれる生徒に、心から感謝している私のことです。日本一ではなく、世界一かもしれません。ありがとうございます。では、今日も一日、元気に、さわやかに、感じよく、がんばりましょう。